

新聞記事・体育授業でのレッスン風景

熊日新聞 平成 24 年 3 月 22 日掲載

ダンス授業 待ち遠しい

来月から必修化 江原中で体験教室



笑顔いっぱいにダンスに取り組む男子生徒たち
＝熊本市の江原中

中学の体育の授業で新年度からダンスが必修化されるのを前に、熊本市の江原中（橋爪富雄校長）で21日、ダンス体験教室があり、1年生の男女109人が楽しんだ。

現在は武道かダンスの選択で、市教委によると、大半の学校で男子は武道、女子はダンスを実施。4月以降は男女ともに、それぞれ学ぶ必要がある。同中は2年生で年間10

時間程度、男女合同でのダンスの授業を行う計画。経験のない男子に事前に体験してもらい、スムーズに学んでもらおうと1年生の保護者会と合同で教室を企画した。

生徒たちは同市の「ビーブジイ」ダンスカンパニーのスタッフの指導で、新学習指導要領が定める「現代的なリズムのダンス」に当たるヒップホップの基本動作に挑戦。人気男性グループEXILE（エクスイル）のヒット曲に合わせて踊った。

速い動きに戸惑いながらも笑顔で取り組んだ磯部幸太郎（19）は「すごく楽しかった。授業が待ち遠しい」。体育主任の星田正治教諭（45）は「生徒たちの学ぶきっかけになり、指導する側も勉強になった」と話した。（岡本幸浩）

産山村立産山中学校の体育授業風景（4年連続）



熊日新聞南熊本販売センター発行「みなみ」掲載

みなみ

平成24年4月8日発行



ダンスステージが披露されました

▲代表の山田さん

▲楽しく曲に合わせてダンス ▲江原中OBの吉村さん

生徒たちは、基礎練習を含めた5つのパートのステップと振り付けを反復しながら練習。1時間もすると体もほぐれて、曲に合わせて全員で楽しくダンスをとっていました。

体育の授業でヒップホップ！ 江原中

3月21日、江原中（橋爪富二雄校長、296人）で新年度の体育の授業にダンスが必修になることから「ダンス体験教室」が行われ、1年生109人がヒップホップダンスにチャレンジしました。

ビーブジイダンスカンパニー（九品寺4丁目）代表の山田真由美さん（40）ら4人がインストラクターを務め、「生活の中にダンスの動きがあります。他のスポーツに活用できるので、楽しんで踊ってください」とアドバイス。

同中平成11年度卒の吉村昭則さん（28）は平成3丁目4人のダンススティーヂャ、同中1年生で、同カンパニー生徒の國崎真凛さんと齋藤美月さんのダンスも披露され、楽しさを身近に感じてレッスンを開始。